

学校に届いたメール

三鷹市立第六小学校 3 年生の A 君、B 君にお礼を伝えたくて連絡しています。

三鷹市立第六小学校様

三鷹市立第六小学校 3 年生の A 君、B 君にお礼を伝えたくて連絡しています。

10 月 31 日午後、1 歳と 3 歳の息子 2 人を連れて、鷹の子児童公園（南浦小学校の裏手）に遊びに行きました。3 歳の長男は年上の子と遊ぶことが好きで、自然にお兄ちゃんお姉ちゃんたちの輪に入っていきます。今日は A 君、B 君が遊んでいるところについて回って、いつの間にか 2 人が優しく手を引いて鬼ごっこを一緒にしてくれていました。息子はとてもはしゃいで楽しそうでした。木登りを初めて教えてもらったり（低い小さな木です）、水飲み場で水の飲み方を教えてもらったり、遊具やバドミントンなど 30 分くらいの間でしたが、親が相手をして遊ぶのとは違う新鮮な雰囲気をおもてとても楽しく見ていました。私は下の子の相手ではなかなか走り回ったりしてあげられないため、有難く微笑ましく、とても癒されました。三鷹の地に半年前に越してきて、まだ友達や知人もあまりいない中、地域の方にこのように助けられていると感じています。

私自身は昭和生まれで地方で育ったため、公園で子どもだけで夕方まで遊ぶことが一般的な環境でした。東京での子育ては手探りですが、このように児童が平和に公園で遊ぶ姿に安心感や嬉しさを感じます。そして息子たちも A 君、B 君のような元気で、幼い子とも自然に楽しく遊べるような、礼儀正しいお兄ちゃんに成長してほしいと思いました。息子は寝る時に「お兄ちゃんたちみたいに大きくなって、木登りしたい」と楽しそうに語っていました（お二人が帰る時は寂しい、と泣いていました）。

今後も公園で小さい子と遊んで欲しい、というわけではなく、単に一主婦として心が癒された、嬉しかった、お二人が 3 歳児の遊び相手がうまくて感心した、というお礼です。お二人は去る時にもきちんと私に「そろそろ帰ります」、と挨拶していきました。日々、我が子への接し方に悩まされる者として、どのように育てたら彼らのように素直で感じの良い少年に育つんだろう…などと考えさせられた出来事でした。

長くなってしまい失礼しました。ありがとうございました。